



01



02

01. グループのメンバーの意見に耳を傾ける児童・生徒。02. 地震の危険性を語る川口准教授。

被災者の気持ちになって考える

相野谷小・中が人権・防災学習を開催

相野谷小学校の5・6年生と中学校は、10月25日、町学校防災アドバイザーで三重大学の川口准教授を迎え、人権・防災学習を行いました。

これは防災意識を高めることや状況を見て自己判断できる力を身につけることを目的とするもので、災害発生時の救助や応援活動、避難所運営などの事例が書かれたカードを自らの問題として考え、YESかNOで答えるクロスロードに挑戦しました。

「避難所に犬を連れてくることを許しますか?」という問題に、YESの意見が多い一方、「アレルギーの人もあるからNO」など、さまざまな意見があり、自分とは違う意見にも耳を傾け、自らの学びを深めていました。

Town topics

10/25

熊野速玉大社例大祭「御船祭」

諸手船が神幸船を先導する

熊野速玉大社例大祭の御船祭が10月16日、同神社と熊野川で行われました。今年は新型コロナウイルスの影響により早船競漕は中止となりましたが、鳥止野神社総代会が管理する諸手船は例年通り神幸船を先導しました。

諸手船は古くから、御船祭で神霊をのせた神幸船を導く大役を務めています。赤い衣装に身を包んだアタガイウチが、神霊を導く動きを表した「ハリハリ踊り」を舞いながら、御船島を3周して、対岸にある御旅所へ神幸船を導きました。

Town topics

10/16



神幸船を先導する諸手船

災害時にドローンで情報収集を

町と県ドローン協会が調印式を実施

町は10月20日、県ドローン協会と「大規模災害時における無人航空機による情報収集等に関する協定」を締結しました。

これは、大規模な災害発生時に小型無人機（ドローン）で安全かつ速やかに被災状況などの情報収集ができるよう結ばれたものです。地震や台風などの大きな災害が発生した場合、被災状況を確認するのが困難な場所や、二次災害の危険性のある場所で、ドローンによる情報収集活動を行い、災害復旧・復興のための支援を行います。

西田町長は、「ドローンでの活動により、安心安全に、迅速で的確な情報が得られることで、町の防災力の向上につながると期待しています」と話していました。

Town topics

10/20



県ドローン協会的小阪代表理事と西田町長



霧吹きを使って虹を作る

虹の不思議を学ぶ

第2回わくわく科学教室を実施

町教育委員会は10月23日、第2回わくわく科学教室を開催しました。

同教室はさまざまな実験を通して科学の不思議さに触れ、親しみをもってもらうことを目的とし、年に3回実施しています。今回は「虹の科学～虹と光～」をテーマに実験を行いました。

まず、虹の正体や色の並び順が決まっていることなどを教わり、ペットボトルの霧吹きを使って人工的に虹を作ることができるかを実験しました。

児童たちは、場所を移動するなど試行錯誤し、虹がくっきり浮かび上がると「見えた」と歓声をあげ、実験を楽しんでいました。

Town topics

10/23



子育て支援センターでハロウィン

仮装姿でイベントを楽しむ

町子育て支援センターと町ママサークル「さくらんぼ」は10月28日、はぐくみの森で未就学児を対象としたハロウィンイベントを開催しました。

イベントの前に8、9、10月に誕生日を迎える子どもをみんなでお祝いし、パネルシアターや保護者と一緒に手遊びをしたあと、ハロウィンにちなみ作成したバッグを片手に、ハロウィンごっこを楽しんでいました。

ハロウィンにちなんだ衣装や人気キャラクターなどの仮装に身を包んだ子どもたちは、夢中になって体を動かしたり、ゲームを楽しんでいました。

Town topics

10/28



01～05・07～18. いろんな衣装に身を包みイベントを楽しむ子どもたち。06. ハロウィンにちなんだバッグ。